

お住まい拝見

南に開放 「男の隠れ家」も

伊良波さん宅

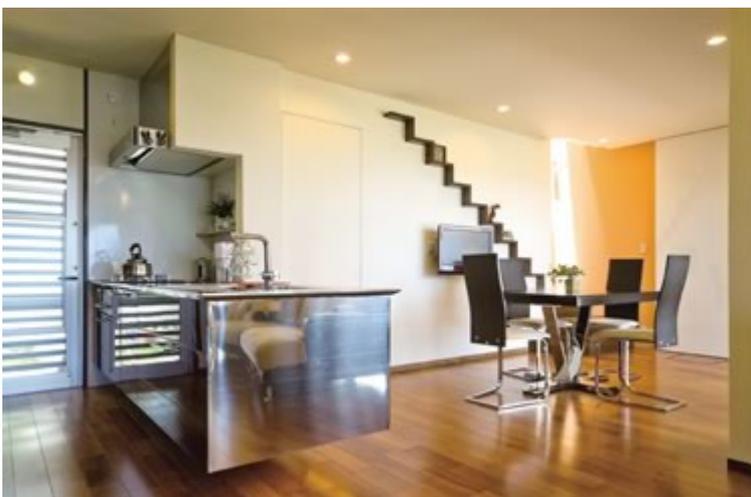


ダイニングから水辺デッキを見る。フルオープンサッシで室内からも外の景色が存分に楽しめる造りに。日当たりのいい南向きにありながら、深い庇(ひさし)が影を生み、昼間も室内の延長として使いやすくなっている

撮影:高野生優(フォートアートたかの)

南部の山々と、その合間を埋める住宅街。そんな風景が広がる高台の上に、兄弟の家々と共に建つのが、伊良波さん(36)宅。リビング・ダイニングに面して大きく取られた水辺デッキでは、南風に吹かれながら、隣に住む兄家族や両親が集まってきて、バーベキューでワイワイ。ホビールームでは伊良波さんが好きなジャズを聞きながら、静かに趣味のバイクいじりに熱中。長年の夢を実現したこだわりの住まいでの暮らしを満喫している。

家族・親兄弟集まりBBQ



1階ダイニング・キッチン。手前にあるキッチンは、一点で物を支える片持ち梁(ばり)工



外観。隣家と向かい合った北側の壁の開口部は必要最小限に。打ち

法で、足元を浮かせて造った。階段の踏み面や蹴上げを壁から飛び出させて造った飾り 放しの個所が、ホビールームになっている
棚が、シンプルな空間にアクセントをつける

風吹く水辺デッキ

伊良波さん宅は、1階にLDK、2階に子ども室や寝室、水回りのある2階建て。特に1階は、伊良波さんのライフスタイルが強く反映されている。

一つ目は、リビング・和室に面して設けられた水辺デッキ。アウトドア好きな伊良波さんが、家族みんなでバーベキューを楽しむ場として使っている。「肉を焼いていると、いつの間にか隣に住む両親や兄貴の家族が、食材を持ち寄って集まりますね。心地いい風に吹かれて飲むビールは最高」と笑う。

二つ目が、玄関の隣にあるホビールーム。趣味のバイクいじりに熱中するスペースで、内部にはバイクをはじめ、伊良波さんが吟味したツールやパーツ類が、ショップさながらに整然と並ぶ。「夕食の後、好きなジャズをBGMに、磨き上げた愛車を眺めながら一杯やると、仕事の疲れも吹っ飛びます。僕にとって大切な隠れ家です」と満足げに語る。

夫人も「新しい家で暮らすようになってから、二人の子どもも活発になりました。お手伝いもしてくれるようになったんですよ」とほほ笑む。隣に住むいとこたちと一緒に、2階のスカイガーデンにプールを出して遊んだり、伸び伸びと過ごしている。



庭から水辺デッキを見る。手面の池が室内に涼風をもたらす。ホビールームをデッキに近接させLDKから様子が見えるようにした



1階リビング。AVボードのほかに、壁の上部には、伊良波さんが集めた雑貨がディスプレイされたショーケースも造り付けた



1階和室。こちらも南側をフルオープンサッシとし、景色が楽しめるよう配慮されている

長年の夢を実現

「35歳までには家を」という高校卒業以来抱いていた夢の実現に向け、伊良波さんはコツコツと貯蓄。住んでいたアパートが道路拡幅で立ち退きになったのを機に、家造りを同じアパートに住んでいた兄たちと共に始めた。

「子どもができてアパートが手狭に感じていたこともあってグッドタイミングでした。親が所有する土地に、兄弟それぞれの住宅と実家を造ることになり、設計は、建築士の兄貴にお願いしました。」

室内の色使いや仕上げをはじめ、家具や水栓、アルミサッシの色に至るまでこだわり抜いた。「長年の夢をかなえるからこそ、妥協はしたくありませんでした。兄弟同士だからこそ率直に意見を言い合えたし、そのおかげで満足のいく家ができました。建材が高騰する中、努力して建築費を抑えてくださった工事会社の方々にも感謝です」と話す。

きょうも朝早く起きて、池の掃除や庭の草むしりをしたという伊良波さん。愛着のあるマイホームでの暮らしを存分に楽しんでいる。

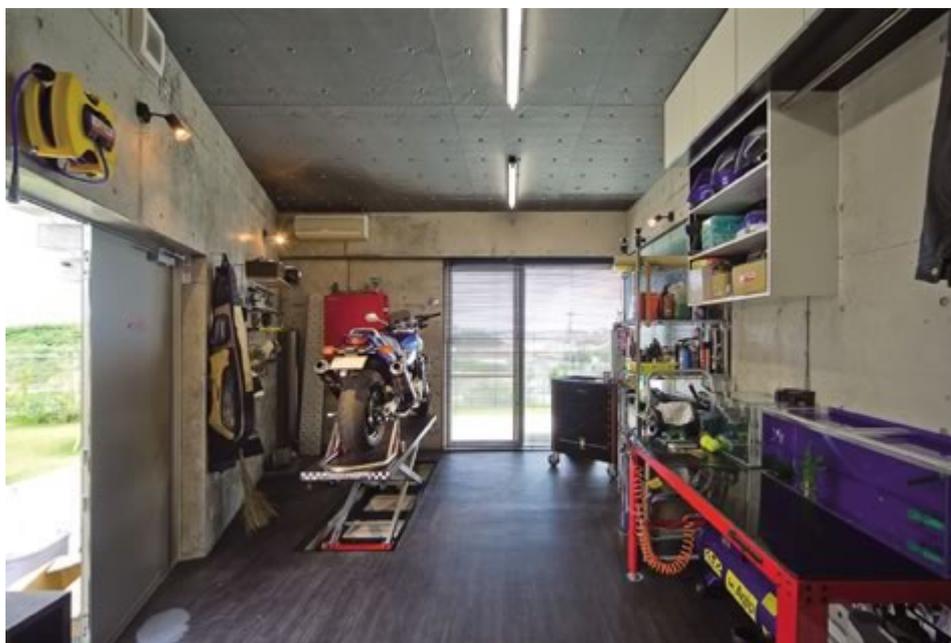


2階階段室とブレイルーム。トップライトからの光がサーモンピンクの壁に筋を描く

(我那覇 宗貴)

快
適
つ
く
る
裏
方
さ
ん

義空間設計工房に聞く設計のポイント 室内外に趣味の空間



1階ホビールーム。天井には吸音材を施工。イタリアから取り寄せたバイクリフトや釣り道具など、伊良波さんこだわりのツールやパーツ類が並ぶ

伊良波さん宅では、「趣味が楽しめて、外とのつながりが感じられる造り」をテーマに設計しました。

まず1階をLDKや和室、ホビールーム、2階を子ども室や寝室、水回りに充て、公私の空間を階層で分けてメリハリをつけました。

アウトドアが気軽に楽しめるスペースとして、水辺デッキを1階中央の南側にレイアウト。8畳と広くしたほか、リビング・ダイニングに隣接させることで、室内の延長として使いやすくしています。

また水辺デッキの手前には雨水を利用した池を造り、蒸発した水分が庭のフェンスにはわせた植物の気化熱や、深い庇で



敷地には伊良波さん宅以外に2棟の住宅が建つ。中央奥が伊良波さん宅

できた影と相まって、涼風を室内にもたらしませます。打ち水と同じ原理ですね。

ホビールームは、クールな質感の打ち放しで仕上げつつ、防音扉の採用や、吸音材を天井に施したことで、室内での反響を抑えました。またLDKや庭先からも様子が見えるよう、水辺デッキの東隣にレイアウトしています。

1階のインテリアは、木をメインとしながらも、金属系の素材とも調和しやすいよう、建具などをダークブラウンで仕上げました。壁に調湿効果があるとされる漆喰を、床には無垢のフローリングをそれぞれ施し、優しい質感を生かした内装としています。

リビングには、AVボードのほか、伊良波さんがこれまでコレクションしてきたサングラスや時計などがディスプレイできるショーケースも造りつけました。

伊良波さん宅以外に2棟の住宅が造られる点も踏まえ、隣家と通路を挟んで向かい合う建物北側は、開口部を必要最小限に。同じく建物北側にある階段室はトップライトを設けることで、明るく仕上げました。

建物の耐久性を高めるため、屋根には断熱塗料を施し、躯体は、固まるのに余分な水分や空気を追い出してより強度を高めたコンクリートで施工しています。

高温多湿な沖縄では、影は涼しさをもたらす「ごちそう」。彫りの深い建築で、快適な住まいにつなげたいと考えています。

建築データ

家族構成: 夫婦、子ども2人
敷地面積: 303.56平方メートル(約91.8坪)
1階床面積: 83.65平方メートル(約25.3坪)
2階床面積: 65.83平方メートル(約19.9坪)
建ぺい率: 33.03%(許容50%)
容積率: 49.25%(許容100%)
用途地域: 第1種低層住居専用地域
躯体構造: 鉄筋コンクリート造

設計: (有)義空間設計工房 伊良波 朝義、新垣 朝憲
構造: ケイツー設計 小波津 和也
設備: (株)設備計画 中谷 浩、名嘉 啓一郎
施工: (株)比嘉組 大城 正
電気: 大嶺電気工事 大嶺 猛
水道: (有)光設備 前田 勲
ガス: 沖縄共同ガス(株) 新垣 淳
キッチン: (有)モブ 照屋 涼子

(有)義空間設計工房 電話: 098・833・8555
<http://www.gikuukan.com/>



人と暮らしの間に
創刊60年 沖縄タイムス 購読申込みはコチラ



(株)タイムス住宅新聞社・週刊「タイムス住宅新聞」編集部
画像及び文章の無断転載・無断引用・販売などは固くお断りします。
Unauthorized redistribution of my data is strictly prohibited